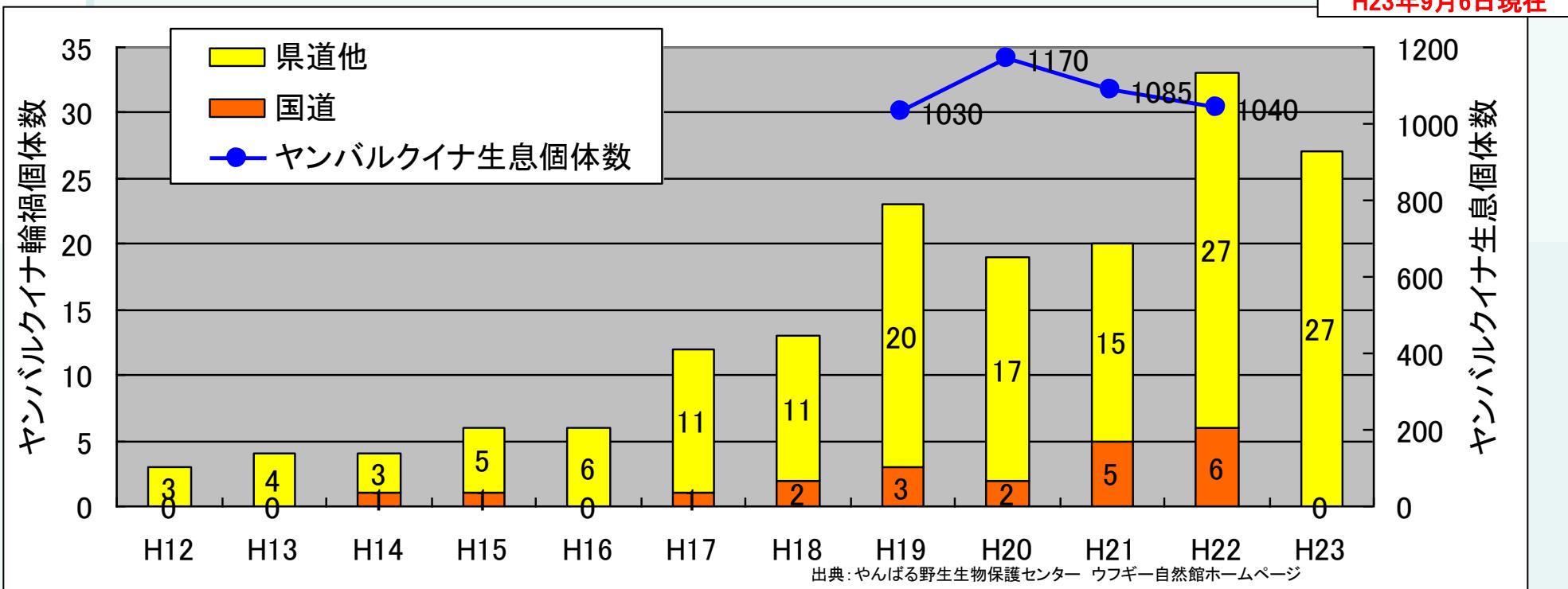


北部国道事務所における ヤンバルクイナロードキル対策

国道58号におけるヤンバルクイナの輪禍

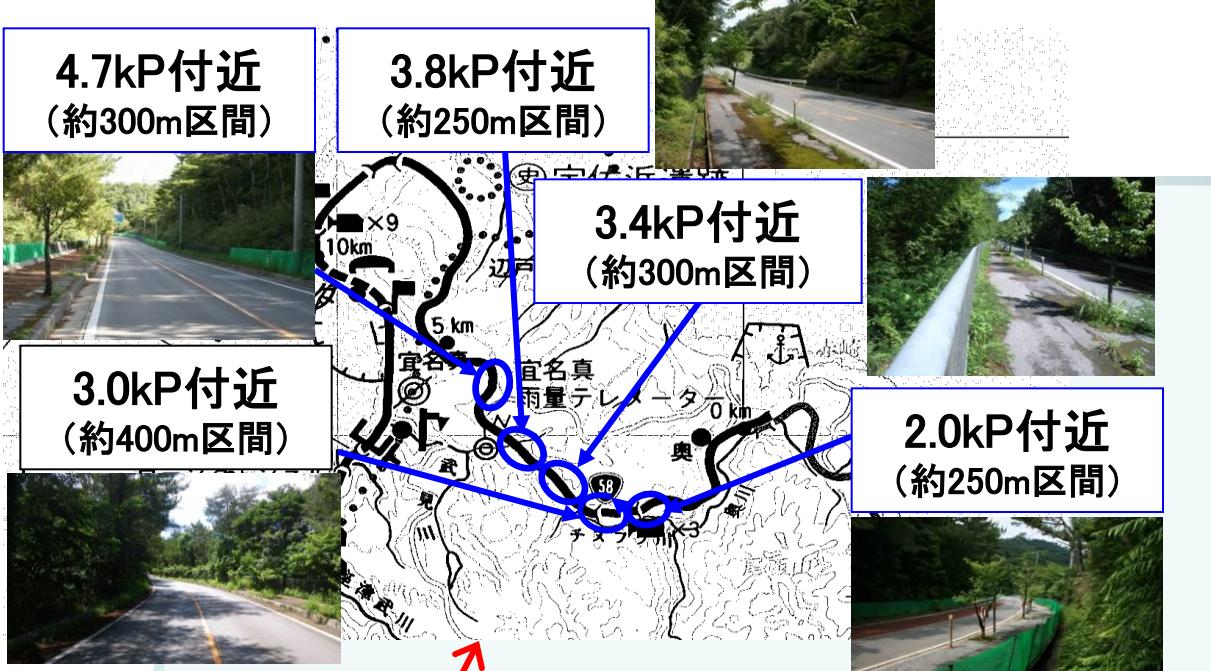
- H14～22年において、国道58号におけるヤンバルクイナ輪禍は計21件発生。
- H20年:3月に1件、11月に1件の計2件の輪禍が発生。
- H21年:4月に1件、5月に1件、6月に2件、8月に1件の計5件の輪禍が発生。
- H22年:6月に2件、7月に3件、10月に1件の計6件の輪禍が発生。
- H23年:9月6日現在、国道58号で輪禍は発生していない。
※これまでにクイナフェンス設置区間・設置中に輪禍は発生していない。

H23年9月6日現在



クイナフェンス設置状況

○クイナフェンス設置位置(国道58号 奥～辺戸間)



○クイナフェンス設置期間

【平成21年】

<繁殖期全期間(3～9月)設置>

- ・2.0kP付近(約250m)
- ・3.8kP付近(約250m)
- ・4.7kP付近(約300m)

<繁殖後期(8～9月)に設置>

- ・3.4kP付近(約300m)

【平成22年】

<繁殖期全期間(3月～)設置>

※撤去期間なし。現在も設置中。

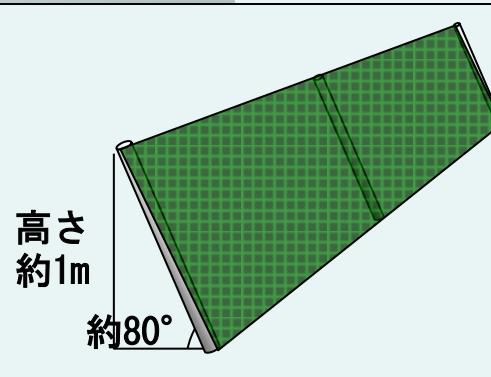
【平成23年】

<2月に設置>

- ・3.0kP付近(約400m新設)

設置期間については検討中。

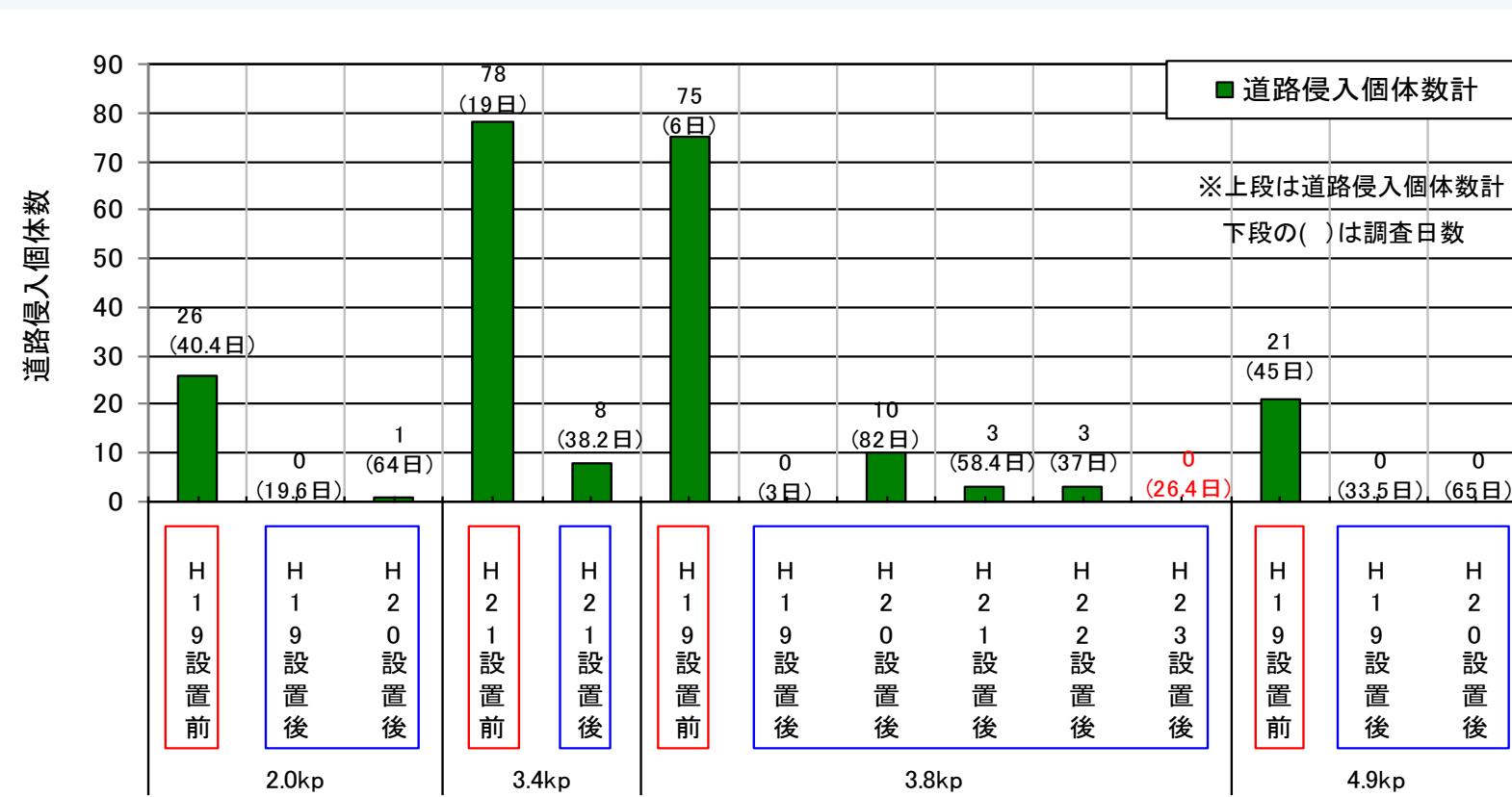
○クイナフェンスの基本構造



| フェンス条件 | 基 準 構 造 |
|---------|-----------------------------|
| 構 造 | 自立タイプ、転落防止柵利用タイプ |
| 素 材 | プラスチック製角目ネット |
| 網 目 サイズ | 10mm程度 |
| 色 | 緑、黒 |
| 高 さ | 約1m |
| 傾 斜 | θ 80～90° 程度(地形条件等に応じて角度を選定) |

クイナフェンス設置前後のヤンバルクイナ道路侵入数の変化

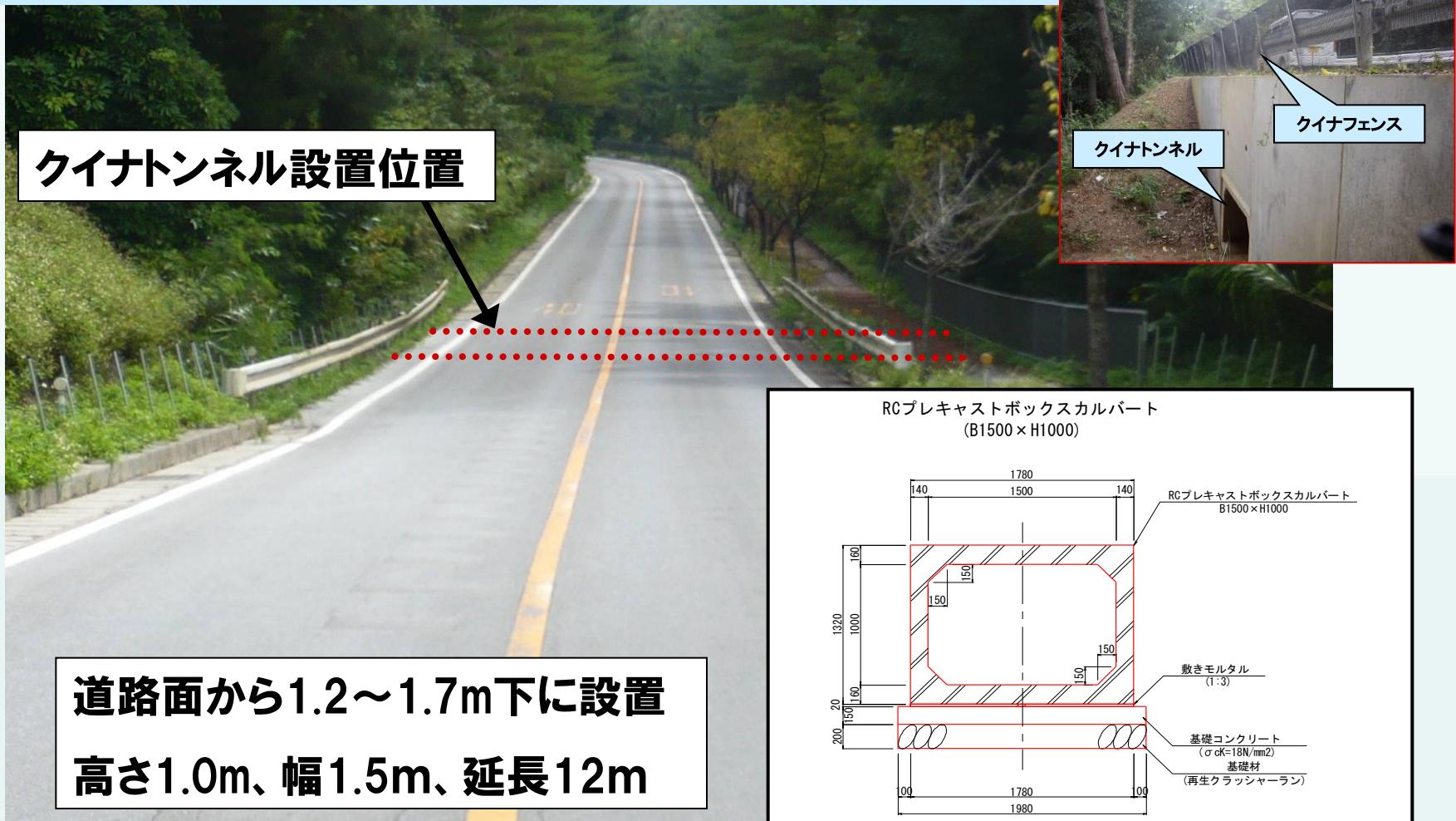
- クイナフェンス設置後の道路侵入例は、いずれも設置前より大幅に減少した。
- H23のクイナフェンス設置後は、モニタリングを実施した3.8kpでは道路への進入は確認されなかった。



クイナフェンス設置による移動分断の対策

～道路下横断通路新設～

- クイナフェンス区間のうち、横断路となる既設の暗渠がない区間について、横断通路(クイナトンネル)を新設(H22. 1月完成)

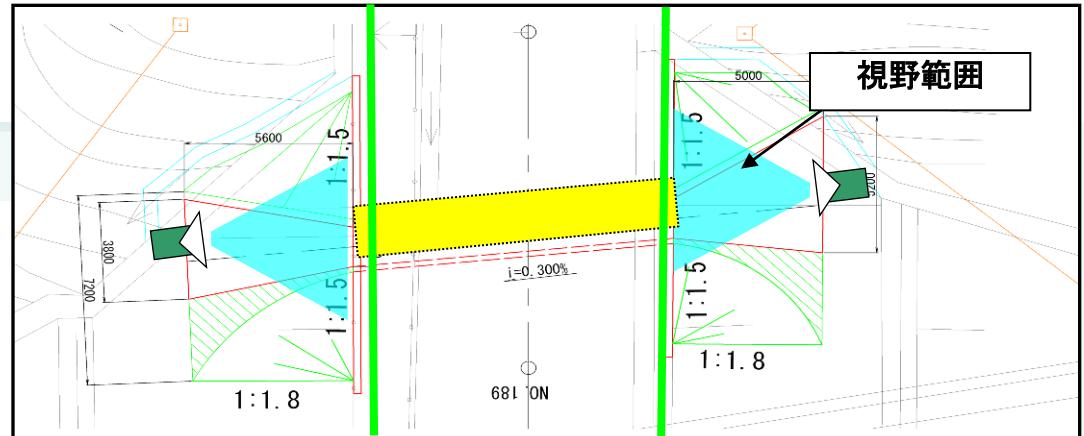


道路下横断路新設箇所のモニタリング調査

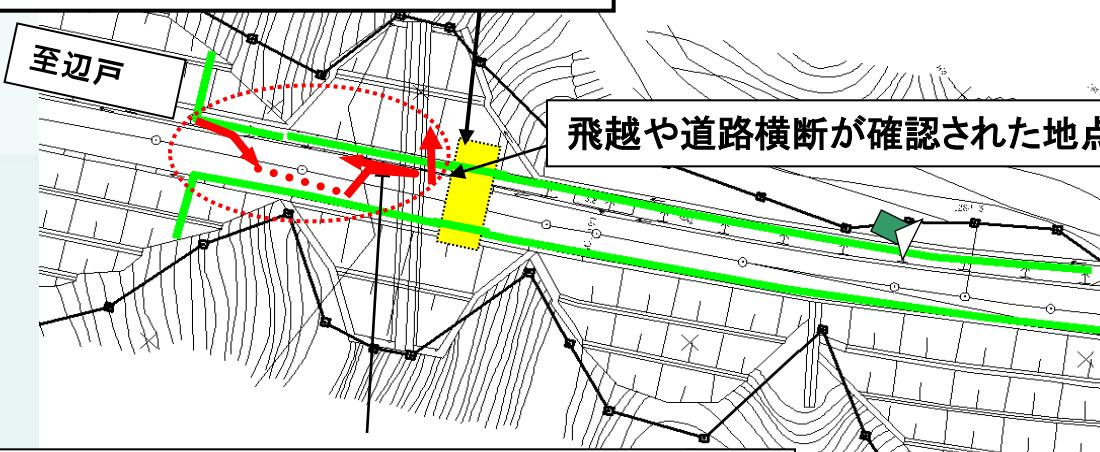
現在、道路下横断路新設箇所のモニタリング調査を実施中。



道路下横断通路新設



道路下横断路新設箇所の両端にカメラを設置

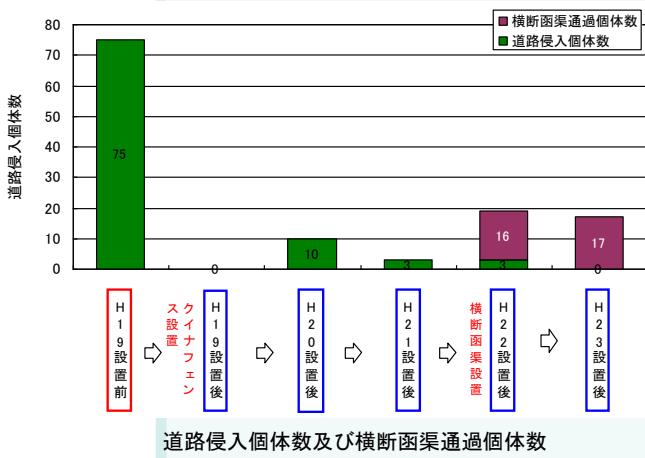


フェンスの飛越などが確認された地点等を含め、道路沿いの地点についても調査を実施する。

- 凡例—
- 緑線 — : クイナフェンス
 - 黄色 ■ : クイナトンネル
 - 赤線 — : ヤンバルクイナ確認地点

クイナフェンス及び横断函渠による移動分断改善効果(3.8kP)

- クイナフェンスによる道路侵入率は低減しているが、平成22年1月に移動分断対策で横断函渠を設置した。横断函渠設置後は平成22年度に計16個体(横断函渠周辺での全確認数129個体の約12%)、平成23年度に計17個体(横断函渠周辺での全確認数57個体の約30%)の横断函渠通過が確認され、ロードキルの不安なく移動分断の影響改善を図ることが出来た。



7/15 画面左側から2個体が出現し、
1個体が横断函渠を横断する。



7/4 道路外から出現するが、
フェンスにより侵入が防止され
ている。



直後に別の1個体が出現し、残った
2個体で採餌する。